

## 階層線形モデル (HLM) のパネル調査分析への応用

宮崎康夫 (ヴァージニア工科大学)

階層線形モデル(HLM)は、縦断研究(追跡調査, パネル調査)データの分析に有効な統計分析方法として、広く教育学, 心理学, 社会学などの領域で採用されている。HLM 法は柔軟であり、個人内の時間的変化と個人差のありようを表現する記述モデルとして用いた後、引き続きそれらの変化や違いを、関連する様々な要因により説明する説明モデルとして利用することができる。HLM 法を応用したパネル調査データ分析手法を解説する。今回は共分散構造分析モデル(Structural Equation Model)によるパネルデータの分析法、Cross-lagged Model などについても紹介する。

日時	2013年7月26日(金) 15:00~18:00
場所	東京大学本郷キャンパス 赤門総合研究棟 5階 センター会議室
定員	30名
要件	どなたでも無料で参加できます。

### 講師：宮崎康夫



ヴァージニア工科大学教育学大学院准教授。ミシガン州立大学より *Ph.D.* を取得。階層線形/非線形モデルを教育問題へ応用したアプローチを試みている。(ヴァージニア工科大学ウェブページより)

### 申し込み方法

お名前・ご所属・職位または学年をご記入の上、件名を“計量分析セミナー特別講演(宮崎先生)申込”とし、2013年7月23日(火)までに [statsemi@iss.u-tokyo.ac.jp](mailto:statsemi@iss.u-tokyo.ac.jp) までお申し込みください。定員に達し次第締め切らせていただきます。